

今回は 19 項目について調査します

国勢調査は、西暦の末尾が0の年は大規模調査、5の年は簡易調査となり、項目数に違いがあります。今回の調査は大規模調査の年で、19項目について調査しますので、みなさまのご協力をお願いします。ここでは、国勢調査の回答方法や期限、調査項目などについてご紹介します。

回答方法

- インターネットでの回答
- 紙の調査票用紙を郵送
- 紙の調査票用紙を調査員に提出

回答期限

10月7日(水)

調査項目

【世帯員に関すること】

- ①氏名、②性別、③生まれた年と月、④世帯主との関係、⑤配偶者の有無、⑥国籍、⑦現在の住居に住んでいる期間、⑧5年前の居住地、⑨在学・卒業等の教育状況、⑩仕事の有無、⑪従業地または通学地、⑫従業地・通学地までの交通手段、⑬従業上の地位、⑭勤め先の名称および事業内容、⑮本人の仕事内容

【世帯に関すること】

- ①世帯の種類、②世帯員の数、③住居の種類、④住宅の建て方

インターネットで回答 簡単な3STEP

新型コロナウイルス感染症予防のために、24時間いつでも回答ができ、約10分ほどで終わるインターネット回答を利用してみませんか。

①アクセスする

- 右のQRコードまたは、検索サイトから「国勢調査オンライン」で検索し、回答サイトにアクセスします。



②ログインする

- 調査員が配布している「インターネット回答利用ガイド」に記載されているログインIDとアクセスキーでログインします。



③回答する

- 画面の案内に従い回答してください。最後にパスワードを設定し、送信すれば回答終了です。



- ① 国勢調査では、金銭の要求、また銀行口座やクレジットカード番号をお聞きすることは絶対にありません。
- ② 調査員は、常に右の写真のように調査員証と腕章を携帯しています。
- ③ 国勢調査を装った不審な電話・メール・ウェブサイトにご注意ください。
- ▼ 詳しくは、役場企画調整課 (033-00334)へご連絡ください。

かたり調査にご注意を

詐欺やほかの犯罪にあわないように次のポイントにご注意ください。



あなたのお宅に調査員が訪問しています!!

調査結果の公表

国勢調査の結果は、人口総数の速報結果を令和3年6月までに公表し、人口総数および世帯数を令和3年11月までに公表する予定です。

集計が完了次第、順次、政府統計の総合窓口(e-Stat)および統計局ホームページで公表するため、インターネットを通じて、だれでも閲覧できます。



e-Stat 政府統計の総合窓口HP

データで見る国勢調査 ~大正と平成比べてみました~

平均寿命は約2倍の延伸

大正10年~14年 平成27年

男 42.06歳 → 80.75歳
女 43.20歳 → 86.99歳

医療技術や医療サービスの向上などにより、乳幼児の死亡率が大幅に低下したことも一因となり、平均寿命は、約2倍延びています。

世帯数は約5倍の増加

大正9年 平成27年

1,122万世帯 → 5,345万世帯

世帯数は増えていますが、1世帯当たりの人員は、減少しています。この背景には、世帯規模が縮小し、未婚化・晩婚化の影響による単独世帯の増加などの理由が考えられます。

人口は約2.3倍の増加

大正9年 平成27年

0.56億人 → 1.27億人

大正9年の調査開始以来、初めて人口が減少した前回の調査。15歳未満の人口は減少していますが、65歳以上の人口は増加しており、4人に1人が65歳以上となっています。

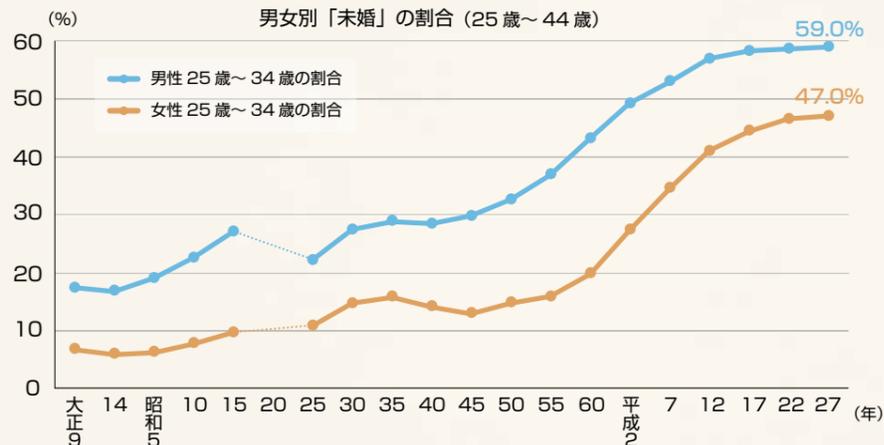
外国人人口は約22.4倍の増加

大正9年 平成27年

7.8万人 → 175.2万人

少子化やグローバル化などの要因から、外国人の技能実習生や留学生の受け入れに前向きなこともあり、大正9年の調査と比較すると外国人の人口が大幅に増えています。

男女とも「未婚」の割合は過去最高



国勢調査では、配偶関係について、「未婚」「有配偶者」「死別」「離別」の4区分に分けて調査・累計しています。「未婚」の割合は、男女とも1980年から急激に上昇していることがわかります。

また、25歳~34歳人口の未婚割合は、男性59.0%、女性47.0%で、男女ともに調査開始以来最も高くなっています。